

「画像技術と視覚研究の交流と発展を目指す会」

日時 2016年1月22日(金) 14:30-17:00

場所 TKP神田ビジネスセンター

主催 日本画像学会 技術委員会

14:30- 15:25 セッション1

オープニングスピーチ	面谷 信(東海大学)
画像表示デバイスとアピランス	平林 純(キヤノン)
シーンと視覚特性	鳴海 翔太(富士ゼロックス)
画像処理と感性	鈴木 俊博(リコー)

15:30-17:00 セッション2

文書と視覚特性	柴田 博仁 (富士ゼロックス)
電子写真画像と質感・光沢感	曾根 拓郎(リコー)
印刷物と色差	田中一徳(京セラドキュメントソリューションズ)
全体討議	

18:00-20:00 懇親会

統合的な画像の取り扱いに立脚した画像技術の新たな展開に寄与する画像に関連する情報の発信と議論の場を提供することを目的として画像関連連合会（日本画像学会、日本印刷学会、日本写真学会、画像電子学会）が設立され、2014年4月より活動して参りましたが、未だミッシングピースとなっているいくつかの分野が存在し、視覚科学はその大きな部分を占める分野と考えられています。

本会は、日本視覚学会と画像関連連合会の皆様に向けて、視覚科学に関連した過去の画像技術研究事例をご紹介します。画像技術のミッシングピースたる視覚科学の領域とはいかなる領域であるかについて再検討を行ないます。さらに、視覚研究者と画像技術研究者が一堂に会して議論することにより、画像技術と視覚科学双方の様々なニーズとシーズを明確にして、両者の将来のコラボレーションの可能性検討とその意義を明らかにしていく最初の場にしたいと考えております。

本来このような会は画像関連連合会主催で企画することが理想ですが、今回は日本画像学会の技術委員会総会（神田）と日本視覚学会の冬季大会(新宿)の日程の合致があり、多くの方々にご出席頂くチャンスとして前記日本画像学会の日程に挿入する形での開催とさせて頂く関係で、とりあえず日本画像学会（技術委員会）の主催とし、特に視覚との関係が深い画像感性部会の主導で企画させて頂きました。

このような趣旨をご理解いただき、是非多くの方にご参加いただき、活発な討議の場としていただければ幸いです。